

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文	学科 専攻
派遣先大学 (国)	カンザス大学 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Applied English Center 及び専門学部		
報告書提出日	2019年9月17日		
留学予定期間	2019年8月～2020年5月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット：                    ( ) /合計

航空券代：                                   27万 (円) /合計

ビザ申請関連費：                         4万 (円) /合計

その他 (     )：                             ( ) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい   いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 150万 (円) /合計

3月末から4月においてカンザス大学のホームページで自分のアカウント作成や、寮の情報を調べた。また、ドル建てで財政証明書を2通作成した。

5月下旬に入学許可証が届きオリエンテーションの内容などの案内が配布された。

6月中旬に VISA 申請に行き許可されたのち航空券を取得した。少し VISA 申請するのが遅かったので航空券が高くなってしまった。なので早めにとることをお勧めします。

ネットで自分の寮の予約と、空港からの無料送迎サービスを手配した。早めに行わなければ手配できない場合もあるので注意が必要。

7月では歯の治療を終わらせたり、神奈川大学に案内された保険に加入した。

### 1.2. 渡航について

シカゴ経由でカンザスシティへ行きボランティアの方に寮まで無料で車で送迎してもらった。車で空港から寮まで大体30分くらいでした。シカゴからの乗り継ぎでは無料シャトルバスでターミナルを移動しないとイケないので不安であれば乗り継ぎの時間に余裕を持つことや事前に調べるなどしておいたほうがいいのかもかもしれません。寮のすぐ近くにバス停があり電車はありますがめったに使いません。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

寮への入居手続きはネットで自分自身がやらなければならなかった。しかし、しっかりとアドバイザーの方から手順など細かく教えてもらえるので心配はいりません。また、しっかりとカンザス大学のホームページに寮の様子や価格が記載されています。寮についたら受付で手続きをし、カードとルームキーをもらった。支払いは学期ごとでした。

寮には基本的に何もないので枕や毛布、食器、シャンプーなど一から用意しなければなりません。ルームメイトがいる場合は自分のシャンプーを使うかもしくはシェアしていくのか、また消耗品が切れたときはどうするのかなど話し合ったほうがいいと思います。また、部屋はオートロックでした。

### 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

特にした覚えはないです。したとするとオリエンテーション期間にまとめてしたかもしれません。

### 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8/13 オリエンテーションスタート。学生証発行。

8/13-8/25 オリエンテーション期間：多くの情報を与えられた。グループでミーティングがありそこで質問が出来たり、ゲームやスポーツ、一緒に食事をする機会があるので友達を作りやすいと思います。

8/14 プレイスメントテスト：結果は19日に発表された。

8/15 健康診断：内容は必要な予防接種をしっかりと受けているかや、アレルギーがあるかどうかについて聞かれた。もし、予防接種していないものがあればそこで注射を打ってもらえる。  
チェックイン。

8/19-履修登録＊この日までは自分のクラスが分からないので履修できない。またネットで行う。

8/26 授業スタート。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

TOEIC 900点以上。

スピーキング能力の向上：特に **Fluency** と **Pronunciation** を鍛えたい。

教育観の違いがあるかどうか学ぶ。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

渡航まで英文や教職の授業、模擬授業、プレゼンといった課題でそこまで多くの時間を留学に向けた英語学習に費やせませんでした。その英文の授業や課題が一種のリーディングやリスニング学習に繋がっていたといま考えれば思います。スピーキングを伸ばす練習をすればよかったと思っていましたが、こっちに来てからはリスニングのほうが難しく感じているのでリスニングを鍛えながらスピーキングの機会を増やしていきたい。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

授業やレクチャーの英語は聞き取れるのですが、日常会話やネイティブスピーカーとのディスカッションが苦手なので、英語のスピーチやドラマ、Conversation Group や友達との会話を通じて鍛えていきたいと思いました。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	秋学期
月	AECL151(14:00-14:50) AECL151(15:00-16:15)
火	AECR151(14:30-15:45)
水	AESP160(11:00-12:15) AECL151(15:00-16:15)
木	AECR151(13:30-14:20) AECR151(14:30-15:45) C&T100(17:00-19:30)
金	AESP160(11:00-12:15)
土	
日	

### 4.2. 授業について

#### ①AECL151 (50分×1+75分×2) (3コマ/週)

この授業はリスニング、スピーキング、グラマー中心の留学生向けで5段階のレベルで一番高いレベル5の授業です。リスニング中心に文法や語彙、調音など幅広く扱っているクラスのように感じます。

#### ②AECR151 (50分×1+75分×2) (3コマ/週)

この授業はリーディング、ライティング、グラマー中心の留学生向けで5段階のレベルで一番高いレベル5の授業です。リーディングのコツを最初に教えてもらいそこから文法やイディオムと共に実践していく形が多いです。ライティングはフォーマットについて教えてもらい後はひたすら書くという感じで授業が進んでいきます。

#### ③AESP160 (75分×2) (2コマ/週)

この授業は発音のクラスで問題演習と発音練習が中心の留学生向けのクラスです。先生がとても明るくクラスの雰囲気も良いのでミスを恐れずに発言や発音をする事が出来ています。発音を一から教わるので何もわからない状態でも理解することができると思います。しかし、予習や課題をやっている前提で早めの展開で授業が進んでいくので予習復習が大切だと感じました。

#### ④C&T100 (150分×1) (1コマ/週)

この授業は講義とディスカッション両方が中心で教師になりたい人や興味がある人向けの教職入門の現地学生向けの専門科目です。150分と長いですが途中で10分休憩を必ず取り入れてくださっているので少しは負担が緩和されていると思います。毎週授業後に次の授業までに小テストをオンラインでやらなければならないので特に復習が肝心だと感じています。また、毎週ではありませんがよく教師や教育関係のレポートを次の時間までに仕上げる課題が出ています。授業にもついていけていて質問もしやすい環境で質問している人が多いので分からないことがあっても解消しやすいクラスの雰囲気だと思います。

### 4.3. 予習・復習・自習について

①②③の授業は毎週必ず課題が出ますがとても多いというわけではないので大変ではありません。また、必ず予習と復習の範囲が指定されているのでどう勉強すればよいかわからないという状況は起きないと思います。

①はグループでトピックを決めプレゼンを行うので授業外で集まる時間を取りトピックのリサーチや発表の段取りを決めたりする必要が出てきます。

④は上記のようにオンラインで小テストが毎週必ずあるのでそれに向けて復習し取り組む必要があります。大体テキストのチャプター1つ分30ページほどと、15ページほどの論文から小テストが出されることが多いのでいかに正確に速く読んで復習し、次の授業までにテストを受ける必要があります。予習はしなければならないというわけではなく特に指示は出ていません。神奈川大学の教職で学んだ知識があったので予習をしなくても授業についていけています。教育関係の知識に不安がある人はシラバスをよく見て次の授業の予習をしたほうが良いと思います。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他：      ）
----	-----------------

ミールプランを取っているのでめったに自炊はしていません。キャンパス内の食堂か外食をしています。ピザやバーガーが多いので意識的に野菜を食べるようにしています。夏の気候は日本と変わらず蒸し暑いですが、しかし、キャンパスの講堂はとても寒いので上着を常備するようになったほうがいいと思います。まだ経験していませんがトルネードが発生するそうです。渡航直前でSIMカードを現地ではなく日本国内で買うとプランを変えたので少しバタバタしてしまいました。日本国内で買ったほうが楽なのでお勧めします。キャンパス内と寮にはWi-Fiが飛んでいるので安心です。また、寮内に洗濯機と乾燥機があります。

### 5.2. 課外活動について

休日は外に出かけることが多いです。空港から寮まで送迎していただいた方と友達になりその人がアクティブな方なので案内していただいたりその方の友達と遊びに行ったり、Japanese Student Association や Bridege というサークル活動で仲良くなった友達と外出することが多いです。平日の授業がそこまでぎっしり詰まっているわけではなく余裕があるので平日のうちに課題を終わらせ、休日は外出などをして英語で会話をする機会を作っています。

### 5.3. 現在までの感想

C&T の授業は留学生の私にとって少し難しいと感じるときもありますが、何不自由なくできているので授業面での不安はないです。少しずつリスニングが良くなってきているのかという実感は多少ありますがスピーキングの変化は私自身では感じられていないのでそこが向上するのかどうかといったところは不安があります。生活面では細かいことが気にならない性格や海外などでの異文化で生活することに多少慣れているのでストレスに感じていることなど無く生活できています。渡航する前までは日本人とはかかわらずに生活しようと思っていましたが、こっちに来て感じたのはそこまで張り詰めにその日本人から学べることもありますし、その人から人脈が広がることもあるので日本語に頼ってばかりでないのならば日本人と関わっても悪くないと心の中で変化が生じたのが現在までの感想です。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（10月）

所属	外国語学部	英語英文	学科 専攻
派遣先大学 (国)	カンザス大学 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	AEC 及び専門学科		
報告書提出日	2019年11月11日		

## 1. 目標について

### 1.1. 留学の目的、達成目標

TOEIC 900点以上。  
スピーキング能力の向上：特に **Fluency** と **Pronunciation** を鍛えたい。  
教育観の違いがあるかどうか学ぶ。

### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月の目標は時間があるときに積極的に **Conversation Group** や英語に触れる時間を作ることができ、リスニングについては、レクチャーは理解することができているのでほぼクリアしたと思う。日常会話も普通の授業や友達との会話から語彙などを教えてもらいながら段々と理解することができるようになってきている状況であるが、まだまだ分からないことが多々ある状況。また、ディスカッションも分かり関わるができるようになってきているが、ボソボソと速く小さな声で話されてしまうと聞き取れていないのでそこを聞き取れるようにするのがこれからの課題だ。

### 1.3. 今月の学習・研修目標

テストで9割以上取る  
Fall Semester の grade を全科目で B 以上取る  
毎日最低二時間は学校の予習復習以外の会話や TedTalks を聞く時間を作り英語に触れる

## 2. 学修について

### 2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	
火	
水	AESP が half semester なので無くなる
木	
金	AESP が half semester なので無くなる

土	
日	

## 2.2. 授業について

### AECR 1 5 1

進捗と理解度は特に変わっていない。前回から変化した点はライティングでただ自分の意見を書く **Opinion Paragraph** だけではなく **Formal Proposal** や **Op-Ed** など様々な書き方を教わっていることだ。同じ議題で違う形式で書く練習を多くしている。しっかりと授業を受け課題をすれば理解できる難易度だ。

### AECL 1 5 1

進捗と理解度は変わっていない。前回から変化した点はプレゼンに向けて **Power Point** やプレゼンをする際の重要なことをリスニングをもとに学んでいることだ。また、新たにその講義内容を理解していることが前提でその内容を録音し提出したりしている。**AECR151** 同様に難なく授業についていくことができている。

### C&T 1 0 0

今月に二人一組のペアで模擬授業を行ったことが大きな前回からの違いであり壁であった。私以外英語が母語でありその生徒たちに私が神奈川大学で取得予定の英語を教えたことが難しいと感じた。ただ授業として説明したことはそこまで苦労はしなかったが、生徒に発問されたり考えを発言された際の答え方や、そもそも早口すぎて上手く聞き取れなかったことがとても私にとっては難しかった。また、**Discussion Board** というオンラインでそれぞれがレポートを書き意見を交換し合うという課題が出されたのも前回から変化した点だ。普段の講義では全員の意見を細かく共有する時間がないのでこの課題はとても有意義なものだと感じた。

## 2.3. 予習・復習・自習について

### AECL 1 5 1

与えられた課題をし、グループでプレゼンがあるので授業外に集まるか、グループチャットで話し合いをしている。そのために、それぞれトピックの研究やパワーポイントの作成を分担し協力しながら活動している。また、インターネットに添付された講義やリスニング材を聞き与えられたプリントの設問に回答したり、そのノートテイキングやサマリーを書く課題も出されたりしている。

### AECR 1 5 1

与えられた課題をしている。予習というよりは復習を中心に教科書やプリントをもとにしている。また、ライティングが中心の授業で週に一回もしくは二週に一回同じテーマで異なる書式でライティングを提出している。そのためにリサーチなどをし取り組んでいる。

### C&T 1 0 0

予習で与えられた教科書とインターネットに添付されたプリントを読むことが課されている。多いときは70ページほどあるので読み切るのに苦労するときもある。復習として教科書をもう一度読みオンラインクイズを解いている。課題は前に述べたような **Discussion Board** やオンラインクイズ、エッセイ、模擬授業の指導案や振り返りのレポートがある。

## 2.4. 語学力について

前回よりもリスニング力は向上しているかと個人的に感じている。また、単語やフレーズを以前より覚えているので会話がより長く続いている。しかし、話は分かるが何を言うか考えているうちに話が進んでしまう傾向があるのでそこが問題点であり改善しなければならない点だと感じています。また、聞けばわかるが咄嗟に話せないなど留学当初からの課題は劇的には改善されておらずより多くのアウトプットの機会が必要だと感じている。しかし、慣れ親しんだ話題や何気ない会話は以前よりはできるようになっていると感じている。また、すこし考える時間や話すのを待ってくれる友達とは余計なプレッシャー無く会話ができているので、そこから自信をつけすぐに反射のように会話に入れるようにしていきたいと思う。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

大学のミールプランを取っているので自炊はせずに Dining Hall を外食するときを除いて活用している。Dining Hall はキャンパス内にいくつかあるがメニューが毎日そこまで変化がないので飽き始めているところだ。しかし、土日は友達と外食に行く機会が今のところ多くあるのでそこで気持ちも食に対する気持ちもリフレッシュできている。食と住に関しては大きな変化はないが、10月にも関わらず雪が降るなどとても寒い天気が続いていてヒートテックなどあまり持ってきていなかったので寒さ対策に苦労している状況だ。日本に比べて10℃低い天気が続いていて今もマイナスの天気が続いている状況。2月は今よりもより寒くなると言われているのでそれに備えて衣服を買うなどして対策しようと思う。

### 3.2. 課外活動について

休日は出かけることが多く Fall Break ではテキサスへ大学のグループで旅行した。サークル活動は前回同様 JSA と Bridge という団体に所属していて平日に Conversation Group のような会話練習の機会があるので活用している。JSA では日本語を学んでいる人が多く所属しているので日本語を教える代わりに英語を話す機会を与えてくれている良い関係が築けていると思う。ハロウィンに関するイベントや鍋を一緒に作るなど二週間に一回はそういったイベントが行われている。Bridge では留学生中心の学生団体ということもあり友達との輪を広げることができているのと同時にいろいろな国の英語や文化を会話をもとに知ることができている。休日は終わらなかった課題をしたり、友達と出かけたりご飯を食べに行くことが多い。

### 3.3. 現在までの感想

現在は AEC の英語の授業を主にとっているのでそこまで大変ではなく余裕があり充実した生活が送れている。しかし、春学期になって専門科目だけ取る状況になったときに授業についていけるのかや、時間や精神的に余裕ができるのかということが今の悩みだ。それ以外は難なく生活できているので何不自由なく生活できているが、生まれ育ったバックグラウンドが全く違うので時々ドラマや子供の頃の時のことをネタにした会話になったときに苦労している状況。生活に慣れてきてアメリカの新たな面が少しずつ見えてきているところなのでこれからよりカルチャーショックに触れていくのかという期待と不安の両方があるのが現在までの感想だ。



以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（2月）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	カンザス大学 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	専門学部		
報告書提出日	2020年3月2日		

## 1. 目標について

### 1.1. 留学の目的、達成目標

TOEIC 900点以上。  
スピーキング能力の向上：特に **Fluency** と **Pronunciation** を鍛えたい。  
教育観の違いがあるかどうか学ぶ。

### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月の目標はすべて達成できていると個人的に感じている。一つ目の目標は冬休みに英語を学ぶと同時にアメリカの文化や私が知らないことを吸収していくということであった。アメリカ人の友達の家でクリスマスや新年を過ごすことができ違いに直接触れることができ良い経験をさせていただいた。二つ目は最低でも一時間は各クラスで行うということであったが、予習が思ったよりも大変で一時間以上は確実に各教科で行うことができ授業の準備をすることができている。三つめは休まずにあと少しで終わるという自覚を持ち生活するということがあったが、休まずに授業に参加し各クラスで多くの知らなかったことや学びを得ることができているので達成できていると考えた。

### 1.3. 今月の学習・研修目標

一日最低一時間授業以外で英語をアウトプットする時間を作る  
授業で今よりも発言する

## 2. 学修について

### 2.1. 授業時間割

現在の学期	春学期
月	LING106(11:00~11:50), WGSS101(14:00~14:50)
火	C&T324(13:00~14:15), C&T331(14:30~15:45)
水	LING106(11:00~11:50), WGSS101(14:00~14:50)
木	C&T324(13:00~14:15), C&T331(14:30~15:45)
金	LING106 DIS(13:00~13:50), WGSS101 DIS(14:00~14:50)

土	
日	

## 2.2. 授業について

### LING106

月曜日と水曜日にレクチャーを受け金曜日にディスカッションをし、理解を深めている。内容は Linguistics の Phonetics や Syntax など広い分野を一通り学ぶ予定だ。初級なのでそこまで深い内容ではなく、また、神奈川大学で既に Linguistics を学んだことがあったので特に授業で困ったことはない。レクチャーは100人を超える大規模なクラスであるが、ディスカッションは8人と少なく話しやすい環境になっている。また、予備知識があるのでディスカッションの授業でも困ったことはない。

### WGSS101

LING と同じように月曜日と水曜日にレクチャーで金曜日にディスカッションとなっている。このクラスは Feminism movement や Gender, Sexuality, Femininity, Masculinity など多くの分野を広く浅く学ぶ内容となっている。このクラスを受ける前からそれらの知識は少しあるものの、そこまで深くは知らなかったことと、日本語で Gender などについて話すことが私にとっては難しいので英語でそれらについてディスカッションをすることは少し苦労している。

### C&T324

授業はレクチャーではなく生徒の発言によって成り立っているクラスだ。トピックを先生が決めてそれについて全員で考え、発言を自由にしている。主に内容は、日頃の教師に関連する悩みや問題についてや、予習の課題であるリーディングについてや、少しオフトピックだが楽しさと中毒の違いや何をすることが楽しいのかということについて話し合っている。

### C&T331

この授業はレクチャー中心の授業になっている。このクラスでは ESOL や SIOP のような英語を第二言語や外国語として学ぶ生徒に教師はどうアプローチしていけばよいのかという第二言語習得の理論や手段を学んでいる。第二言語取得のための教師の生徒へのアプローチの仕方には元々興味があり、また日本でも少し学んでいたのが良く理解することができている。

## 2.3. 予習・復習・自習について

### LING106

予習としてウェブにアップロードされたリーディングを読むことが課されることもある。しかし、これといって指定された予習はなく復習と課題が中心となっている授業だ。課題はその週に学んだものの演習という形でプリントを渡されそれをこなすことだ。一回目の試験がありそれに向けて復習をしたりしたが、すでに神奈川大学で学んだ内容がほとんどなので復習もテストも苦労しなかった。テストはマークシートの選択式であった。

### WGSS101

予習として週に 15~20 ページのリーディングを 3~5 種類読むことになっている。予習の読む量には苦労しているが内容はためになることが多い。また、Paper の課題が既に一つあり Gender や Feminism Movement において自分にどのように影響があり今後どのようにしていくかといった内容のテーマについて書いた。復習は授業やディスカッションで分からなかったところを調べたりといった基本的なところで予習のリーディングが中心となっている授業だと感じた。

### C&T324

この授業も予習として週に一つリーディングをウェブにアップロードされそれを読み、それをもとにしたディスカッションをしている。また、週に一度そのリーディングをもとに秋学期の C&T101 でもあったように Discussion Board という課題をしている。それは、それぞれの生徒がテーマに対して自分の意見をレポートとして提出しそれを全員が見ることができるといった課題だ。それによって意見の共有がスムーズにでき多種多様なアイデアを得ることができている。

### C&T331

ほとんどの授業で予習としてこれまでの授業と同じようにリーディングの予習が課せられているが他のクラスと比べるとそこまで予習の比重は高くない。他の授業と異なるところはウェブにアップされたテストを毎週課題としていることだ。なのでそのために授業終わりの復習は欠かさずに行っている。また、英語を第二言語話者としている人や外国語として学んでいる人向けの授業案を作ることが課題となっており、今その作業に取り組んでいるところだ。

## 2.4. 語学力について

語学力は自分ではそれほど劇的に変わったとは感じないが少しは変わったと感じている。普段のコミュニケーションは大分とれるようになってきたと思うが、それとアカデミックな英語でのやり取りは全く違うものだと感じており、授業中での発言や発表にまだ少し苦労しているところだ。また、前学期はそこまで課題の時間にとらわれることがなかったので、英語での交流の時間に割くことができていた。しかし、今学期は想像していたよりも予習に時間を取られてしまっていて英語を使う機会が前よりも減ってしまったと感じているので時間の使い方をもう少しよく考え改善すべきだと考えている。ライティングも添削していただける先生や友達もいるので英語のアウトプットの引き出しが増えているのではないかと思っている。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他：      ）
----	-----------------

衣に関しては特に前回と変わりはなく、日本よりも寒いので厚着をしたりしている。食に関しては今学期はミールプランの金額を減らし朝と夜ご飯は自炊するよう変えている。大学の Dining Hall に飽きていたこともあって自炊することによってリフレッシュすることができている。住に関しては、二人ルームメイトが帰り一人新しいルームメイトが入ってきたので新鮮な気持ちで過ごしている。コミュニケーションを最初によく取ることができたので問題なく今のルームメイトと過ごすことができている。

### 3.2. 課外活動について

前学期同様 JSA と Bridege に参加し多くは金曜日や土日にアクティビティがあり交流しながら英語を使っている。休日は一日は外出しもう一日は課題とリラックスする時間になっているケースが多い。春休みはまだ確定はしていないがもしかしたらグループトリップでコロラドに行くかもしれない。また、教会やキリスト教関係の人と出会う機会が多くなり宗教に関して見聞を広めることができている。

### 3.3. 現在までの感想

アメリカの生活にほぼ完全に慣れてきたところで少し日本が恋しくなってきたところだ。アメリカに来てということも、学年的にも将来のことについて考える機会が多くなってきている。選択肢は多くあるがなかなか絞る作業ができていないことが今の悩みだ。また、前に述べたように前学期よりも英語を使う機会が減っていることも反省点であり悩みでもある。しかし、アメリカで専門科目を英語で現地の人と取っていることをとてもやりがいがあると感じ楽しめているので良い状況ではあると思っている。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	4	年次
派遣先大学 (国)	University of Kansas (アメリカ)				
所属プログラム・ 学部・研究科	AEC 及び専門学部	履修言語	英語		
留学期間	2019年8月～2020年5月				
報告書提出日	2020年6月7日				

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall	8月26日 ～12月6日 (14週)	12月9日 ～12月13日	英語力の結果、本科の授業と AEC の授業を取ることが認められたのでシラバスを自分でオンラインで調べ、興味があった授業を決め、アドバイザーと相談した後登録。
Spring	1月21日 ～5月8日 (14週)	5月11日 ～5月17日	AEC を卒業したので本科の授業のみを履修できるようになり、秋学期同様に学びたい内容を挙げアドバイザーと相談した後登録。C&T の春学期の2科目は現地の教育学部の学生のみ受講できるものであったが、秋学期に C&T101 を受講し成績が良かったため許可していただいた。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall	AECR101	46.12 時間	<p>月曜日にパソコン室で50分一回と教室で75分授業、水曜日に教室で75分授業ありました。この授業はリーディング、ライティング、グラマー中心の留学生向けで5段階のレベルで一番高いレベル5の授業です。リーディングのコツを最初に教えてもらいそこから文法やイディオムと共に実践していく形が多いです。ライティングはパソコン室でフォーマットについて教えてもらい後はひたすら書くという感じで授業が進んでいきます。週に約一回ライティングの課題が出ていました。自分で決めたテーマを学期通して扱いましたが、書式や内容が毎回違うものとなっていました。なので、書式をしっかりと間違いなくすることとリサーチをすることが重要でした。Final Paper と Reading Test があり、Final Paper は Introduction, Body, Counterargument, Conclusion の構成で参考資料を基にした Paper となっていた。これまで学んだものの集大成であったためすべての内容をおさらいしミスや補えるところがないかよく考え取り組んでいました。Reading Test はファイナルになっておりこの学期に学んだ Reading のコツや引用の仕方、パラフレーズ、ボキャブラリー、Fact・Opinion の区別などすべての範囲となっていた。なので、これまで学んだ全範囲を復習し要点をまとめ覚えていた。</p>
		0.83 (時間/回) × 1 (回/週) × 14 (週)+ 1.25(時間/回) × 2 (回/週) × 14 (週)	
Fall	AECL151	46.12 時間	<p>木曜日にパソコン室で50分一回と教室で75分授業、火曜日に教室で75分授業ありました。この授業はリスニング、スピーキング、グラマー中心の留学生向けで5段階のレベルで一番高いレベル5の授業です。リスニング中心に文法や語彙、調音など幅広く扱っているクラスのように感じました。レコーディングを提出したり、レコーディングされたものを聞きノートテイキングや問いに答える課題や、ボキャブラリーの課題が出たりしました。ボキャブラリーのテストが約2～3週に一回ありそのために復習をよくしていた。Group Presentation が最後にあり三人一組で発表しました。上手くプレゼンができるように時間を設けて集まったり、メールで進捗を連絡しあい三人で協力しあった。また、間や表情、ジェスチャー、Power Point の書き方などをそのプレゼンを通じて学ぶことができた。</p>
		0.83 (時間/回) × 1 (回/週) × 14 (週)+ 1.25(時間/回) × 2 (回/週) × 14 (週)	

Fall	AESP160	21 時間	この授業は75分の授業が水曜日と金曜日に一回ずつ行われていました。内容は発音のクラスで問題演習と発音練習が中心の留学生向けのクラスです。発音を一から教わるので何もわからない状態でも理解することができるクラスでした。しかし、予習や課題をやっている前提で早めの展開で授業が進んでいくので予習復習が大切だと感じました。毎日何か課題がありました。例えば何かのテーマについて感じたことをレコーディングし提出したり、添付された講演を聞きその要約をレコーディングして提出するなどといったことだ。テストは特になく小テストと課題のみであった。小テストでは調音方法や発音の正誤問題などであった。
		1.5 (時間/回) × 2 (回/週) × 7 (週)	
Fall	C&T101	35 時間	この授業は木曜日に150分の授業が一回でした。内容は講義とディスカッション両方が中心で教師になりたい人や興味がある人向けの教職入門の現地学生向けの専門科目です。毎週授業後に次の授業までに小テストをオンラインでやらなければならないので特に復習が肝心でした。また、毎週ではありませんがよく教師や教育関係のレポートを次の時間までに仕上げる課題が出ていました。試験はありませんでしたが、レポートの提出がよくあり、それらの出来と出席によって成績が決まりました。小テストに取り組む際は、教科書とオンラインに添付された記事や論文などから出ていたので読み、重要な点や要約を簡単にしていました。参照可のクイズだったので準備をしていればできる問題だったのでそこまで気を追うことなくできました。レポートは評価基準をよく読みそれに沿いながら文法などのミスに気を付け、話をより具体的に分かりやすくしようと努めました。
		2.5(時間/回) × 1 (回/週) × 14 (週)	
Spring	C&T324	35 時間	この授業はレクチャーではなく生徒の発言によって成り立っているクラスだ。トピックを先生が決めてそれについて全員で考え、発言を自由にしている。主に内容は、日頃の教師に関連する悩みや問題についてや、予習の課題であるリーディングについてや、少しオフトピックだが楽しさと中毒の違いや何をすることが楽しいのかということについて話している。また、Teaching, Learning, Curriculum という三つのトピックを掘り下げ教師に求められていることは何かということ話を話したりもした。テストは特になく課題の評価と出席で決まった。オンライン授業になってからも今までと同じように予習のリーディングをしてディスカッションを週に2回していた。ディスカッションは自分に都合がよい日
		1.25(時間/回) × 2 (回/週) × 14 (週)	



			<p>を選択することができたので時差の影響もそこまでなくできた。大きな課題として Tool Box と Unit Plan, Lesson Plan があった。Tool Box はこれまで学んできたものでこれからの教員人生として役立つような Tool を Learning, Teaching, Curriculum から挙げ概要、理由、Standard にどう合うのか、どのようにして生かせるのか、どうこれから生かしていきたいかということについて書いた。Unit Plan, Lesson Plan は自分が教えたい学年と科目を決め、Objective, Standard, Modification などよく考えた。また、制約として授業内で言われていた春期休暇中の課題読書を Lesson Plan に加えることがあった。</p>
Spring	C&T331	35 時間	<p>この授業はレクチャー中心の授業になっている。このクラスでは TESOL や SIOP のような英語を第二言語や外国語として学ぶ生徒に教師はどうアプローチしていけばよいのかという第二言語習得の理論や手段を学んでいる。第二言語取得のための教師の生徒へのアプローチの仕方には元々興味があり、また日本でも少し学んでいたため良く理解することができていた。予習のリーディングをして、それについて詳しくレクチャーやディスカッションで理解を深めるといったクラスであった。オンラインへ移行してからはオンデマンド授業になったが内容や課題の変更は特になくスムーズに切り替わった。この授業も特にテストはなく課題と週 1 回の小テストによって評価されていた。大きな課題として Lesson Plan や Teaching Philosophy などがあった。Lesson Plan は学年と科目は決められたが、必ずロミオとジュリエットの内容を含めることが条件であった。C&amp;T324 同様に Objective などよく考えてプランを練った。特にこの Lesson Plan は TESOL のクラスということもあり英語が母語でない人に向けて何をすればよいのかということに気を付けながら考えた。Teaching Philosophy は自分がどのような授業をしていきたいのか、どのような教員人生を歩んでいきたいのかということを書いた。この考えは随時変わっていくので見直し、新たな考えを反映していくことが大事だと学んだ。</p>
		1.25(時間/回) × 2 (回/週) × 14 (週)	
Spring	LING106	34.86 時間	<p>月曜日と水曜日にレクチャーを受け金曜日にディスカッションをして理解を深めている。内容は Linguistics の Phonetics や Syntax など広い分野を一通り学び Linguistic 的な面からみて言語は皆平等で劣ったものはないということを最後に学んだ。初級なのでそこまで深い内容ではなく、また、神奈川大学で既に Linguistics を学んだことがあったので特に授業</p>
		0.83 (時間/回) × 3 (回/週) × 14 (週)	

			<p>で困ったことはなかった。レクチャーは100人を超える大規模なクラスであるが、ディスカッションは8人と少なく話しやすい環境になっていた。また、予備知識があるのでディスカッションの授業でも困ったことはなかった。オンライン移行後はオンデマンドの授業になった。ディスカッションもオンデマンドになりワークシートが配られ動画の GTA と共に問題に取り組み理解を深めていった。テストが三回と Final で Short Paper があった。テストに取り組む際は、Study Guide で範囲を提示してくれていたのそれに沿い今までの講義やノート、ディスカッションのワークシートをよく復習し見直していた。Short Paper は劣った言語はないということの証明を自分の考えを添付されたリーディングの資料と共に書くというものであった。その際これまで学んできた内容を総復習し何か証明に役立ちそうな内容はないか考えていました。</p>
Spring	WGSS101	<p>34.86 時間</p> <p>0.83 (時間/回) × 3 (回/週) × 14 (週)</p>	<p>LING と同じように月曜日と水曜日にレクチャーで金曜日にディスカッションとなっている。このクラスは Feminism movement や Gender, Sexuality, Femininity, Masculinity など多くの分野を広く浅く学ぶ内容となっている。このクラスを受ける前からそれらの知識が少しはあるものの、そこまで深くは知らなかったことと、日本語で Gender などについて話すことが私にとっては難しいので英語でそれらについてディスカッションをすることは少し苦勞した。オンライン授業に移行してからはオンデマンドの授業にレクチャーはなり、ディスカッションはそのレクチャーや予習のリーディング、動画をもとに与えられた問いに自分の考えや要約などを書くことに変更された。テストはテスト範囲や形式が予め言い渡されていたのでその範囲の内容やリーディングの資料などを読み直すことで対応していた。課題は大きなもので二つあり Activism Paper と Media Paper があった。Activism Paper では Activism に関わることを一つ取り上げそれについて Power Point でまとめ音声を録音するか台本と共に提出するものであった。評価基準や Power Point を書く際の注意点、Power Point の構成など制約が多くあったが、それらを守り自分にしか書けない内容を探し注意点に沿って作成することで対応できた。Media Paper は Feminism に関わるような広告を一つ取り上げそれについて何がどの問題となっている、どうすれば解決に向かうかなどを書いていく課題であった。直近の広告のみ課題で取り扱うことができるというもの</p>

			であったので寮にテレビが見ることができない環境だったので題材を決める際に最初に苦労したことを覚えているが、題材が決まってしまうとすぐに取り組み作成することができた。
--	--	--	--

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

授業全般を通してやるべきことはきちんとやるということ、オンオフのスイッチを大切にすることを心掛けていました。アメリカの授業は予習として与えられるリーディングの量が多くまた知らない単語もよくあったので読み通すのに時間がかかった。しかし、こなせない量ではなかったののでやるときとやらないときの切り替えをきちんとすることによって学修もそれ以外のことも充実した生活を送ることができていた。課題をされていてどうしても困った場合は先生や現地の友達に声をかけ助けてもらい一人で抱えて悩まないようにもしていた。受けたどの授業の内容も興味深いものであったので今までに書いたことを心掛けたことによってより充実した生活ができていた。

### 1.4. 語学力について

TOEIC など公的機関のテストが COVID-19 によって受けることができていないので客観的な数字で語学力の向上を語ることは出来ないが、Ted Talk や NetFlix などの動画を見る際に字幕の必要性がほとんどなくなるほどリスニングは向上することができていると思う。スピーキングは多少話すまでに考える時間があることもあるが留学前に比べその時間が早くなり、ボキャブラリーが増えたことによって話のやり取りができる機会が増えていると実感している。留学中は、Bridge や JSA、CTG などのグループに所属し常に英会話をできる環境を確保した。また、AEC に所属していた秋学期は空き時間に Conversation Group に毎日のように通った。春学期は現地でできた友達と話す機会が多くあり英語を練習する機会を確保できるように努めていた。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

この留学で得られた学修の成果は3つあります。1つ目は語学力です。英語で授業ができたので伸びたとは思っておらず学んだ表現を覚え所属していたグループで練習し、日々の目標で例えば1時間以上は予習復習以外にインプット・アウトプットの時間を設けるなど計画と実行を積み重ねた結果だと思っています。2つ目は計画性です。特に留学でアメリカに行くからは計画をし、それを実行し、反省や評価するという流れを目標の達成に向かって意識するようになり自然とその考えが染み付くようになりました。3つ目は専門知識です。特に教員の専門知識で TESOL などのメソッドの知識が深まりどのような方法でそのような心構えで生徒に接し授業をしていけばよいのかということを深く学ぶことができた。この知識がこれからの教員人生に役立ちそうだと考えています。以上3つのことを特にこの留学の経験から学ぶことができた振り返ってみて感じています。

## 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

反省点としてはWGSS101を興味だけで取得したことだと思います。Genderなどといったテーマに興味があり取得しましたが、特にこの授業は課題で求められることが他のものよりも高く感じ、内容と私自身の興味との間にギャップがあったので中盤や終盤の課題で苦勞しました。受講したことや内容に満足し後悔はしていませんが、興味があるだけでは苦しむこともあるので当たり前ですが良くシラバスを読むことをおすすめします。WGSSが私の専門でないことも関わってくると思うので自分の知識が浅い科目を受講する際は特によくシラバスを見てアドバイザーと相談してほしいです。授業をよく聞き、予習復習をしっかりとし、求められていることを自分なりに考えながら行いさえすれば必ず授業を理解でき良い成績が修められるのでそれらもすることをおすすめします。

## 2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活で学修を除いて得られたものは3つ挙げられます。1つ目は考え方です。日本の常識も向こうでは常識ではなかったりしたのでそれによって固定観念が無くなり物事を広く受けとめることや偏見なく考えることが以前に比べるとできていると思います。2つ目に心です。アメリカは多くの人種や宗教を信じている人など日本と比べてもそれぞれの人が違う側面を持っているという認識が広く広まっています。それによって、違いを受け止めそれを共有したり、大事な時は皆でその人を守ることや、困っているときは必ずその人に手を差し伸べるなど温かさがよく感じる事ができた。また、間違いや失敗に日本よりも寛容であると感じられた。例えば、発音のミスではなくその会話の中身を重視していて傾聴がほとんどの人ができていて、最後にそのミスを改善できるようにアドバイスを提供してくれたなどといったけいけんから心の広さを感じる事ができた。最後に自律です。日本では実家暮らしでしたがアメリカでは寮生活でしたので自炊や洗濯など生活に欠かすことのできないスキルを学び自分で行えることは自分ですという当たり前のこともこの留学の経験をもとに学ぶことができました。

## 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学生活の反省点は最初の時期に何もしない無駄な時間があつたことです。私が行っていた大学は田舎でお店なども少なく、オリエンテーション期間で友達があまりおらず、移動手段もなく特に何もすることなく無駄な時間を過ごしてしまっていました。そこで、自分なりにやるべきことや目標を立てたり、もしくはより積極的にオリエンテーション期間で出会った人と友達になるべきだったなど今思えば感じます。なので、現地についてから時間がたっていないときは何をすればよいか分からなかったり、友達もいないし、移動手段もなくても途方に暮れたりすることがあると思いますが、一日一日が貴重な留学生活なのでより有意義に過ごせるような環境を、自分なりに考えてほしいです。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年5月25日	
派遣先国	アメリカ	
派遣先大学	カンザス大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：( ) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
本学での所属	外国語学部	英語英文学科
学年	3年次 (留学開始時の学年)	
	4年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年8月 ~ 留学終了年月 2020年5月	
	留学期間 10ヶ月間	

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 4 )
3	住居形態の詳細を教えてください。	(私以外に三人のルームメイト、日本人二人・アメリカ人一人(12月まで) アメリカ人二人(三月まで)、2LDK )
4	入居時手続き	(手続きをしてカギを受付で受け取る、授業料などとまとめて後で払う )
5	費用(月額)	( )円
6	食費(月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他( )円
7	支払方法	(クレジット+持って行った現金 )
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ( )
9	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 大学に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他( )
10	周囲環境	(バス停の目の前、Walmartがある、 )
11	アクセス	(歩いて10分ほど、大学のバスだと三―五分ほど )
12	留学中の住居に関してアドバイス	(私が住んでいた場所は費用が安く抑えられ、無料で洗濯・乾燥ができた良い場所でした。二人の相部屋だと多少狭く感じるかもしれませんが、共有のリビングがあるなど利点のほうが勝った印象でした。 )

## II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	加入式（月額支払）
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	（h2o という会社で電話と FAX により購入 ）
4	自宅のインターネット接続環境	無線（大学または寮への LAN 接続）
5	大学内インターネット接続環境	無線（大学または寮への LAN 接続）

## III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	400 （ドル）/月
2	食費	600 （ドル）/月
3	交通費	0 （ドル）/月
4	通信費	30 （ドル）/月
5	娯楽費	0 （ドル）/月
6	図書費	0 （ドル）/月
7	学用品（教科書など）	50 （ドル）/月
8	被服費	50 （ドル）/月
9	医療費	0 （ドル）/月
10	雑費・その他	50 （ドル）/月
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舍デポジット	0 （円）/月
12	ビザ申請関連費	4万 （円）/月
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	27万 （円）/月
14	その他	0 （円）/月
15	<b>留学全日程に要した総額（概算）</b>	<b>150万 円/合計</b>
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：2万 円） <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： ） <input checked="" type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス	私は平気でしたが場合によってはキャッシュカードや現地で銀行をした開設した方が良い人もいますのでよく調べてください。

#### IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 (10か月分で111820円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	特にありません。自分の身体によってはアレルギーや風邪薬があると安心です。

#### V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
服、歯ブラシセット、入浴セット、パソコン、スマホ、薬、文房具、電子辞書、日本のお菓子やご飯、お金、財布、マスク、英語学習のための本やテキスト、パスポート、パスポートのコピーなどの重要書類	
2	現地で購入したもの
服、教科書、トイレトペーパー、寝具セット、ライト、飲食物、掃除セット、お土産	
3	(自分は持っていかなかったが)日本から持っていったら便利だと思ったもの
特にありません。持って行っていました、体を動かすための服や日本の食べ物があるとよいと思います。	

#### VI. 留学先で困ったこと

最初のオリエンテーション期間で私も含め周りの人が同じような人種で固まっていることが多くその先の留學生活が不安になっていましたが、友達は自然とできるので安心してほしいです。現地のアドバイザーの方も優しく特に困ったことはありませんでした。空港からボランティアで寮まで送ってくれた方がいたのでスムーズに買い物や入寮ができましたが、そういった方がいなかったら最初は少し手こずったと思います。

#### VII. その他、後続の学生へのアドバイス

留學によって得られることははかりきれません。語学だけでなく現地ならではの考え方や常識など学び見聞を広める機会があり、かけがえのない経験になると思います。ぜひ、悩んでいたら最初の一步を踏み出してみてください。



